

BOSE

LIFESTYLE® 600

HOME ENTERTAINMENT SYSTEM



取扱説明書

安全上の留意項目

安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

Lifestyle[®] 600 home Entertainment Systemに関する詳細情報は、global.Bose.com/Support/LS600をご覧ください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他のすべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、www.Bose.com/complianceを参照してください。

安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。



この製品には強化ガラスが使用されています。取り扱う際には衝撃を与えないようにご注意ください。破損した場合は、割れたガラスで怪我をしないように注意して処理してください。

- ・火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- ・水濡れやしぶきがかるような場所でのこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- ・火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・許可なく製品を改造しないでください。
- ・インバータ電源は使用しないでください。
- ・車内や船上などで使用しないでください。
- ・この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- ・電源アダプターは、必ず製品に付属しているものをご使用ください。
- ・万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- ・空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ・暖炉、ラジエーター、暖房送風口、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くにブラケットを取り付けたり、本製品を設置しないでください。
- ・製品ラベルはコンソールの底面にあります。

注: 本機は、FCC 規則のパート15に定められたクラスB デジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除 RSS 規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

5150 ～ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。

本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。

このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

低電力無線デバイスの管理規制

第12条

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECに従い、以下の基準または文書に準拠しています: Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版 Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	≤ 0.5W	すべてのネットワークタイプ ≤ 20 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	< 25時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	該当なし	≤ 2.0 W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Wi-Fi: 無効化するには、コンソールの Source ボタンを10秒間長押しします。Wi-Fi®を有効化するには、もう一度長押しします。 Bluetooth: 無効化するには、画面上のメニュー、リモコンの画面、または SoundTouch app でペアリングリストを消去します。有効化するには、Bluetooth® ソース機器とペアリングします。 Ethernet: 無効化するには、Ethernet ケーブルを外します。有効化するには、Ethernet ケーブルを差し込みます。	

規制に関する情報

外部電源アダプターの技術情報

本製品に付属する外部電源アダプターは、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令 2009/125/EC に従い、以下の基準または文書に準拠しています : Commission Regulation (EU) 2019/1782。

メーカー	Bose Products B.V.
商業登記番号	36037901
住所	Gorslaan 60 1441 RG Purmerend The Netherlands
モデル識別番号	S088AP44001252
入力電圧	100V-240V
入力AC周波数	50Hz/60Hz
出力電圧	44V DC 10V DC
出力電流	1.3A 3.3A
出力	55W 33W
平均有効効率	88.6%
低 負 荷 時 の 効 率 (10%)	87.2%
無負荷時の消費電力	0.11W

メーカー	Bose Products B.V.
商業登記番号	36037901
住所	Gorslaan 60 1441 RG Purmerend The Netherlands
モデル識別番号	PSM88W-213
入力電圧	100V-240V
入力AC周波数	50Hz/60Hz
出力電圧	44V DC 10V DC
出力電流	1.3A 3.3A
出力	55W 33W
平均有効効率	88.0%
低 負 荷 時 の 効 率 (10%)	79.0%
無負荷時の消費電力	0.17W

ヨーロッパ向け:

運用周波数 2400 ～ 2483.5 MHz、5150 ～ 5350 MHz、および 5470 ～ 5725 MHz

最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。

このデバイスを 5150 ～ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	

中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
有毒/有害物質および成分						
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Bose® Lifestyle® 600 home entertainment system、型式: 420128、420132、420188						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、製品梱包箱の側面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをお勧めします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「0」は2010年または2020年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plant 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan.

Phone number: +886-2-2514 7676

メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone number: +5255 (5202) 3545

セキュリティ情報



この製品は、ボースから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、SoundTouch® appで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。セットアップを完了しない場合は、ボースが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。

ライセンス開示情報

ホームシアターシステムに搭載されているソフトウェアパッケージに適用されるライセンス開示情報は、SoundTouch appまたは製品のIPアドレスを使用して表示できます。

SoundTouch app

1. アプリで⇒[設定]>[システム情報]>[法的事項]の順に選択します。
2. 該当するライセンスタイプを選択します。

IPアドレス

1. 次のいずれかの方法で、製品のIPアドレスを確認します。
 - **SoundTouch app:** アプリで⇒[設定]>[システム情報]の順に選択します。お使いのホームシアターシステムを選択して、IPアドレスを確認します。
 - **ワイヤレスルーター:** 詳細については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
 - **システム:** リモコンのSETUPボタンを押します。UNIFYメニューで、[システム情報]>[ネットワーク]の順に選択して、IPアドレスを確認します。
2. ワイヤレスネットワークに接続されているデバイスで、ブラウザを開きます。
3. アドレスバーに「**<IPアドレス>/licenses.pdf**」と入力して開くと、該当するライセンス開示情報が表示されます。

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Android、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle LLCの商標です。

Amazon、Amazon Music、Kindle、Fireおよびそれらに関連するすべてのロゴは、Amazon, Inc.またはその関連会社の商標です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

DOLBY AUDIO® この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。DolbyおよびダブルDマークはDolby Laboratoriesの登録商標です。



DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご覧ください。この製品はDTS, Inc.のライセンスに基づいて製造されています。DTS、シンボルマーク、DTSとシンボルマークの複合ロゴ、Digital Surround、およびDigital Surroundのロゴは、DTS, Inc.の米国または他の国々もしくはその両方における登録商標または商標です。

© DTS, Inc. All Rights Reserved.



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

DeezerはBlogmusik SASの登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術を用いてこの製品以外で使用するまたは配布することは禁じられています。

N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

PandoraおよびPandoraロゴとPandoraトレード・ドレスは、Pandora Media, Inc.の商標であり、許可を得て使用しています。

SiriusXM Internet Radioのサブスクリプション(別売)をご利用いただけるのは、アメリカ合衆国およびプエルトリコに居住する18歳以上の方のみです。アメリカ合衆国でSiriusXM Internet Radioのサブスクリプションを申し込むには、www.sirius.comにアクセスするか、1-888-539-7474までお電話ください。

SiriusXMおよび関連するすべてのマークおよびロゴは、Sirius XM Radio Inc.およびその子会社の商標です。All rights reserved.

SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます。www.spotify.com/connect/third-party-licenses

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

この製品は、Universal Electronics, Inc.のライセンスに基づき、UEI Technology®を使用して設計されています。© UEI 2000-2016

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Windowsは、アメリカ合衆国および他の国々におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2020 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

はじめに

内容物の確認.....	10
レイヤー 1.....	11
レイヤー 2.....	11
レイヤー 3	12
レイヤー 4.....	12
設置ガイド	13
システムの設置例.....	14

システムのセットアップ

UNIFY®について.....	15
UNIFY®セットアップ	16

リモコン操作

リモコンの概要	17
SOURCE ボタンについて	18
機能ボタン	18
音量の調節	18
MORE ボタンについて	18
AV OUTPUTメニュー	18
AV SETTINGSメニュー	19
バックライトボタン	19

SoundTouch® appのセットアップ

SoundTouch® appをダウンロードしてインストールする.....	20
SoundTouch®オーナーサポートセンター	20

SoundTouch®を既にお使いの方

既存のアカウントにシステムを追加する	21
システムを新しいネットワークに接続する.....	21

プリセットのカスタマイズ

プリセットを設定する	22
プリセットを再生する	22
リモコンを使用してプリセットを設定する.....	22
リモコンを使用してプリセットを再生する.....	22

目次

Bluetooth接続

ペアリング方法を選択する	23
モバイル機器を接続する	23
NFCによる機器のペアリング	24
接続したモバイル機器をリモコンで操作する	24
モバイル機器のBluetooth機能を使用して接続する	24
リモコンを使用して接続する	25
モバイル機器の接続を解除する	25
別のモバイル機器をペアリングする	25
機器を再接続する	25
システムのBluetoothペアリングリストを消去する	25

高度な機能

Wi-Fi® 機能を無効にする	26
Wi-Fi機能を再度有効にする	26
システムソフトウェアを更新する	26

動作状態の確認

ステータスインジケータについて	27
コンソールのLEDインジケータ	27
Acoustimass®ベースモジュールのLEDインジケータ	28
ワイヤレスレシーバーのLEDインジケータ	28

補足事項

お手入れについて	29
お問い合わせ先	29
保証	29
仕様	29
SERVICE 端子	29

トラブルシューティング

トラブルシューティング	30
IRエミッターのセットアップ	33
音が出ることを確認する	34

付録A: 設置ガイド

コンソールの前面パネル.....	35
前面のヘッドホン/AUX入力端子.....	35
前面HDMI入力.....	35
コンソールの背面パネル.....	35
AC-2アダプターの接続.....	36
フロントスピーカーを設置する.....	37
必要となるもの:.....	37
フロントスピーカーをコンソールに接続する.....	38
Acoustimass®ベースモジュールをコンソールに接続する.....	38
リアスピーカーを設置する.....	39
必要となるもの:.....	39
ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える.....	40
リアスピーカーを接続する.....	40
リアスピーカーを電源に接続する.....	41
スピーカーの設置方法.....	41

付録B: システムのお手入れ

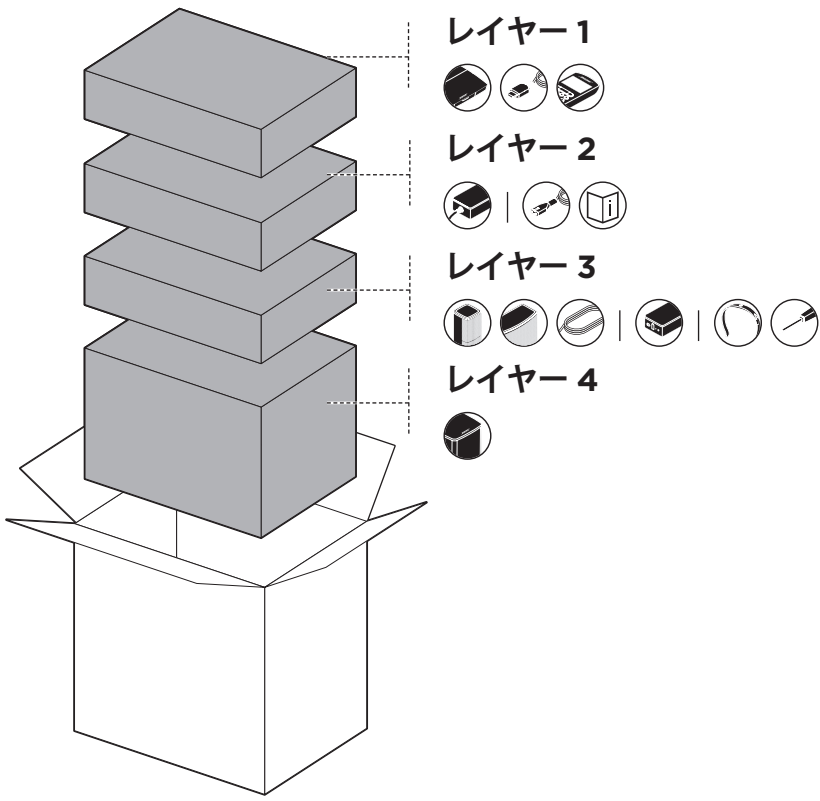
リモコンの電池を交換する.....	42
-------------------	----

付録C: ケーブル接続による別のセットアップ方法

Acoustimass®ワイヤレスベースモジュールとコンソールをペアリングできない.....	43
ワイヤレスレシーバーとコンソールをペアリングできない(リアスピーカー).....	43

内容物の確認

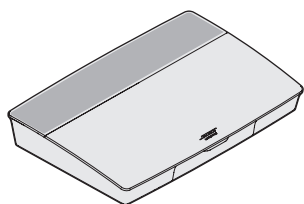
Lifestyle® Home Entertainment Systemの付属品は4つのレイヤーに分かれており、その中に小さな箱がいくつかあります。それぞれの箱には内容物を示すアイコンが付けられています。



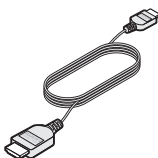
注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

レイヤー 1

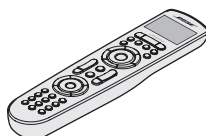
箱    から取り出すもの:



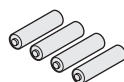
コンソール(1)



HDMI™ケーブル(1)



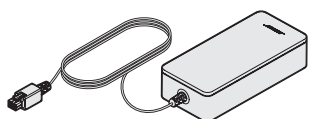
ユニバーサルリモコン(1)



単三乾電池(4)

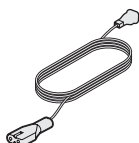
レイヤー 2

箱  から取り出すもの:



コンソール用電源アダプター(1)

箱   から取り出すもの:



電源コード(4)*



取扱説明書(1)

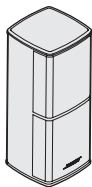


3.5 mm ステレオ音声ケーブル(1)

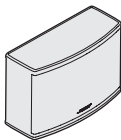
*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものを
お使いください。

レイヤー 3

箱    から取り出すもの:



Jewel Cube®
スピーカー (4)



Jewel Cube®
センタースピーカー (1)



フロントスピーカー用
ケーブル(1)



リアスピーカー用
ケーブル(2)

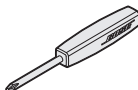


AC-2アダプター (5)

箱   から取り出すもの:



ADAPTiQ®用ヘッドセット (1)



ドライバー (1)



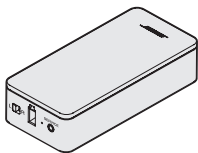
IRエミッター (1)



光ケーブル(1)

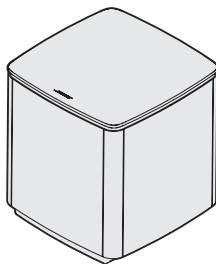
レイヤー 4

箱  から取り出すもの:



ワイヤレスレシーバー (2)

箱  から取り出すもの:



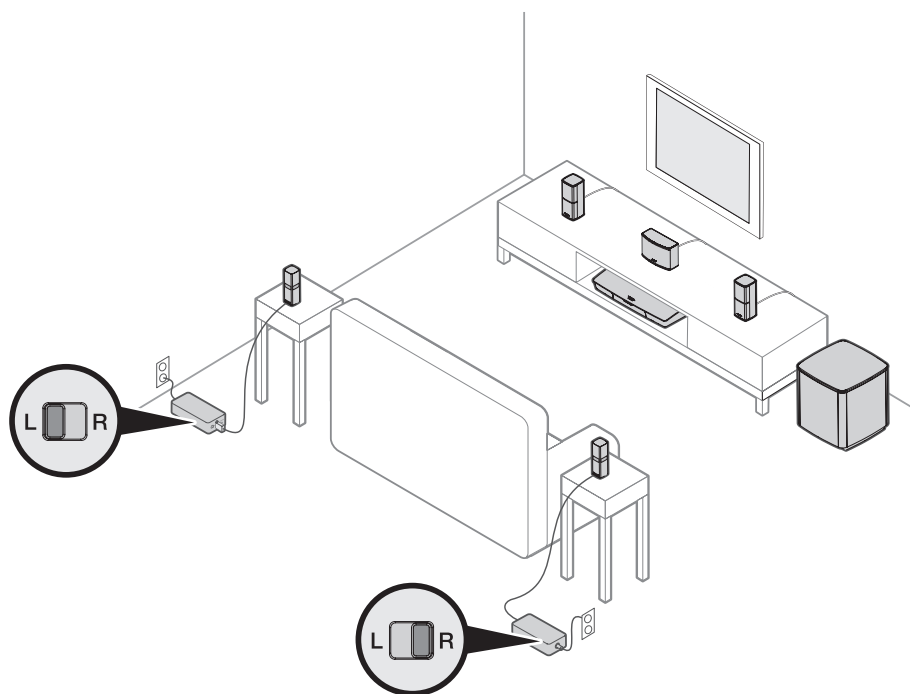
Acoustimass® ベースモジュール(1)

設置ガイド

無線の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から30～90 cmほど離れた場所に設置してください。金属製の家具や熱源などから離れた場所に設置してください。また、金属製の家具の中には置かないでください。

コンポーネント	推奨される設置方法
コンソール	- コンソールはコンポーネントに近い場所に設置します。テレビに近い場所に設置することをおすすめします。 - テレビや他のコンポーネントをコンソールの上に置かないでください。 - コンソールは十分に換気の行き届いた場所に設置してください。 - 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。 注: システムの設置が完了するまで、コンソールの背面パネルに手が届く場所に仮置きします。
Acoustimass® ベースモジュール	- ゴム足のついたベースモジュールをテレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。 - 安定した水平な面に設置してください。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でベースモジュールの位置がずれることがあります。 - ベースモジュールの前面を壁や家具などから8 cm以上離してください。前部下部にある開口部が塞がれると、音響性能が低下する恐れがあります。 - 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
フロントスピーカー	- テレビの両側に1台ずつスピーカーを設置します。 - 本棚のような囲まれた場所にスピーカーを置く場合は、棚の前端に合わせて設置してください。
センタースピーカー	センタースピーカーは、テレビの上または下の安定した水平な場所に設置します。
リアスピーカー/ワイヤレスレシーバー	- リアスピーカーは、お部屋の後方、リスナーの後ろに設置します。可能であれば、座ったときの耳の高さと同じか、それより高い位置に設置してください。 - 一方のワイヤレスレシーバーのスイッチがL(左)になっていることを確認します。 - もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチがR(右)になっていることを確認します。 - テレビに向かって、部屋の左側にスピーカーとL側のワイヤレスレシーバーを設置します。 - テレビに向かって、部屋の右側にスピーカーとR側のワイヤレスレシーバーを設置します。 - 電源コンセントが近くにある場所にワイヤレスレシーバーを設置してください。

システムの設置例



UNIFY®について

ナビゲーションシステムUNIFY®は、画面上の指示を通してシステムのセットアップと設定の手順をご案内します。ケーブルと入力端子を正しく選択し、接続した機器を操作できるようにBose®リモコンをプログラムするための便利な機能です。

注: システムの設定には1時間ほどかかります。操作を始める前に、十分な時間があることをご確認ください。

メニュー項目	可能な操作
Bluetooth設定	Bluetooth機器を管理します。
機器の管理	別の機器またはアクセサリをシステムに追加します。
ネットワーク設定	システムをホームネットワークに接続します。
ソフトウェアの更新	システムソフトウェアを更新します。
電源の連動	リモコンの電源ボタン  をカスタマイズして、システム、テレビ、その他のHDMI接続機器の電源を同時にオン/オフすることができます。
自動オフ	音声信号がないまま20分が経過するとシステムの電源が自動的にオフになる機能を無効にします。
ヘッドホン端子	前面のヘッドホン/AUX入力端子のデフォルトの使用方法を設定します(35ページを参照)。
CEC設定	コンソールのCEC機能を調整します。 • Default On (デフォルト オン): CEC機能が有効です • Alternate On (個別指定): CEC対応機器が現在選択しているソースを変更できないようにします • Off (オフ): CEC機能がオフです
ADAPTiQ®	ADAPTiQ自動音場補正を開始します。補正完了後は、このメニューからADAPTiQの有効/無効を切り替えることができます。
テレビのリモコン設定	本機のリモコンでテレビを操作できるように設定します。
テレビ音声の詳細設定	HDMI (ARC) 機能の詳細を確認し、優先する使用方法を設定します。
スピーカー管理	システムのスピーカー設定を変更します。
言語の選択	画面表示の言語を選択します。
チュートリアル	SoundTouch®機能など、システムの主な機能に関する設定の手順を確認できます。
終了	UNIFYメニューを終了します。

UNIFY® セットアップ

システムを初めてお使いになる前に、UNIFYセットアップで以下の初期設定を行います。

ステップ	目的
リモコンのペアリング	システムのリモコンをコンソールに接続します。
言語の選択	画面の一覧から言語を選択します。
ネットワークへの接続	ホーム Wi-Fi ネットワークまたは Ethernet を選択して接続します。
ソフトウェアの更新	最新の機能を利用できるように、システムソフトウェアを更新します。
ケーブル接続スピーカー	フロントスピーカーと Acoustimass® ベースモジュールをコンソールに接続します。
ワイヤレススピーカー	リアスピーカーをコンソールにワイヤレスで接続します。
テレビの操作	システムのリモコンでテレビを操作できるように設定します。
接続機器の追加	追加する機器を接続します。
ADAPTiQ® セットアップ	システムが設置されている部屋の音響特性に合わせてシステムのサウンドをカスタマイズします。
チュートリアル	SoundTouch® 機能など、システムのその他の機能に関する設定の手順を確認できます。

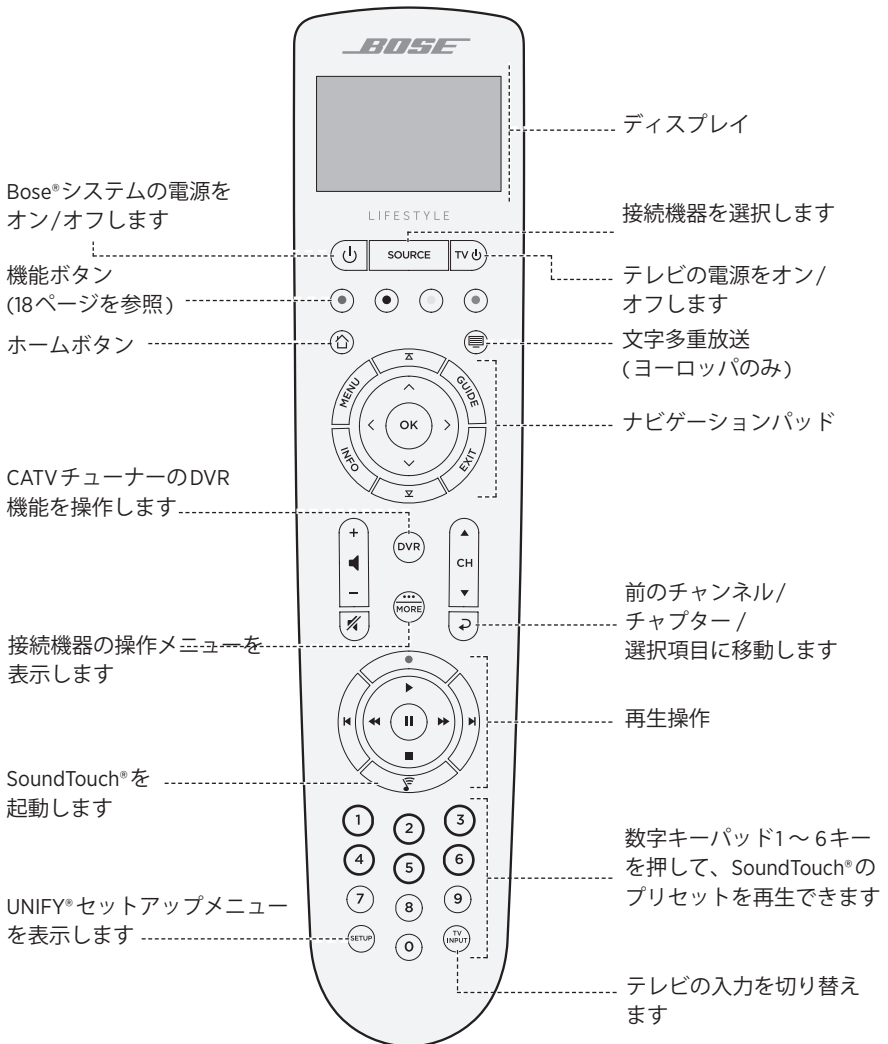
初期設定の終了後は、いつでも UNIFY メニューを表示してシステムの設定を変更できます。リモコンの **SETUP** ボタンを押すと、UNIFY セットアップが開始されます。

リモコンの概要

最新のBose® RF (電波式) リモコンは、コンソールに向けなくても、お部屋のあらゆる場所からシステムを操作できます。

Lifestyle®システムを操作する際の主な情報はリモコンのディスプレイに表示されます。接続機器とシステムの設定はディスプレイで確認できます。

注: Bose リモコンでは、前面のHDMI™入力に接続した機器を操作することはできません。



SOURCE ボタンについて

接続機器を切り替えるには、**SOURCE** ボタンを押します。接続機器の操作はリモコンのナビゲーションパッドで行います。

接続機器がハイライトされたら、**OK** ボタンを押して選択します。

機能ボタン

リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/衛星チューナーや文字多重放送のカラーボタンの機能に対応しています。

- **CATV/衛星チューナーの機能**: チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- **文字多重放送**: 画面のページ番号、見出し、ショートカットなど、カラーボタンで操作できる機能に対応しています。(ヨーロッパのみ)

音量の調節

音量レベルはリモコンのディスプレイに表示されます。

- **+** ボタンを押すと、音量が上がります。
- **-** ボタンを押すと、音量が下がります。
- **🔇** ボタンを押すと、音がミュートまたはミュート解除されます。

注: システムをセットアップした後にテレビから音が聞こえる場合は、テレビの設定で内蔵スピーカーをオフにしてください。

MORE ボタンについて

MORE ボタン  を押すと、現在選択しているソース機器専用の機能やその他のシステム操作機能をリモコンのディスプレイで選択できます。

1.  ボタンを押します。
2. **▲** ボタンや **▼** ボタンを押してリモコンのディスプレイに表示されている機能を選択します。
3. **OK** ボタンを押します。

AV OUTPUT メニュー

AV OUTPUT メニューには、現在選択しているソース機器の現在のビデオ解像度、フレームレート、音声形式、音声チャンネル数が表示されます。

1. リモコンの  ボタンを押します。
2. **AV OUTPUT** を選択します。
3. **OK** ボタンを押します。
4. **EXIT** を押します。

AV SETTINGSメニュー

AV SETTINGSメニューでは、一部のシステム設定を変更できます。表示される項目数は、現在選択しているソース機器によって異なります。メニューを表示するには、次の手順に従います。

1. リモコンの  ボタンを押します。
2. **AV SETTINGS**を選択します。
3. リモコンの**OK**ボタンを押すと、選択している機器のAV SETTINGSメニューが表示されます。
4. **▲**または**▼**ボタンを押して、変更するオプションを表示します。
5. **OK**ボタンを押して、設定を選択します。
6. 終了したら、**EXIT**を押します。

AV 設定	目的
SYSTEM AV (システム設定)	システムの高音、低音、中域音、サラウンドの音量を調節します。
SOURCE AV (ソース設定)	• AUDIO (オーディオ): - ダイアログモードでは、台詞やナレーションが聞きやすくなります。 - ムービーモードでは、ほとんどの状況に適したバランスの良い音が再生されます。 - ナイトモードでは、音の大きな場面で台詞が聞き取りやすくなるように音量が調整されます。 - ミュージックモードでは、音楽の再生に最適な状態に調整されます。 • AV SYNC (AVシンク): 音声の聞こえるタイミングを調整し、映像の動きと音声を合わせます。 • AUDIO TRACK (音声トラック) - Advanced Audio Coding (AAC): 複数の言語トラックから音声を選択します。 - 日本語音声のみ(デフォルト): リモコンの  ボタンを押して、[AV設定]>[デバイスAV設定]>[音声トラック]>[主音声]の順に選択します。 - 英語音声のみ: リモコンの  ボタンを押して、[AV設定]>[デバイスAV設定]>[音声トラック]>[副音声]の順に選択します。 - 両方の音声を聴く場合: リモコンの  ボタンを押して、[AV設定]>[デバイスAV設定]>[音声トラック]>[主+副]の順に選択します。
NOTIFICATION (通知)	有効にすると、入力が必要な場合にリモコンのディスプレイが点滅します。
RESTORE DEFAULTS (デフォルトに戻す)	オーディオの設定をデフォルト値に戻します。
REMOTE INFO (リモコン情報)	リモコンのシリアル番号とソフトウェアバージョンを表示します。

バックライトボタン

リモコンの裏側にある  ボタンを押すとボタンのバックライトが点灯し、暗い場所でも操作しやすくなります。

SOUNDTOUCH® APPのセットアップ

SoundTouch® appは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどからSoundTouch®の設定や操作をするためのソフトウェアです。このアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどがコンソールのリモコンとして機能します。

このアプリからSoundTouch®の設定、音楽サービスの追加、世界中のインターネットラジオ局の選局、プリセットの設定と変更、音楽のストリーミング再生などが行えます。新しい機能も随時追加されます。

注: 既に別のシステムでSoundTouch®をセットアップしてある場合は、21ページをご覧ください。

SoundTouch® appをダウンロードしてインストールする

スマートフォンやタブレットにBose® SoundTouch® appをダウンロードします。



SoundTouch® app

- **Apple 製品ユーザーの場合:** App Storeからダウンロードします。
- **Android™ユーザーの場合:** Google Play™ストアからダウンロードします。
- **Amazon Kindle Fire ユーザーの場合:** Amazon Android アプリストアからダウンロードします。



アプリに表示される手順に従い、Wi-Fiネットワークへのシステムの追加、SoundTouch®アカウントの作成、音楽ライブラリや音楽サービスの追加などのセットアップを完了します。

システムをホームWi-Fiネットワークに接続すると、同じネットワーク上にあるスマートフォンやタブレットなどからシステムを操作できます。

ヒント: コンソールに接続するすべてのデバイスで同じSoundTouch®アカウントを使用する必要があります。

注: システムを既にWi-Fiネットワークに追加している場合は、アプリに指示が表示されたら[システムはすでにネットワークに接続されています]を選択します。

SoundTouch® オーナーサポートセンター

 global.Bose.com/Support/LS600

オーナーサポートセンター Webサイトにアクセスすると、取扱説明書や製品に関する記事、ヒント、チュートリアル、ビデオライブラリなどが用意されており、オーナー同士で質問を投稿したり回答したりできるコミュニティ(英語のみ)があります。

既存のアカウントにシステムを追加する

既に別のシステムでSoundTouch®をセットアップしてある場合は、SoundTouch® appを再度ダウンロードする必要はありません。

アプリで **≡** > **[設定]** > **[スピーカーの追加または再接続]** の順に選択します。

セットアップの手順はアプリに表示されます。

システムを新しいネットワークに接続する

ネットワークの設定情報を変更した場合は、新しいネットワークにシステムを追加します。追加するには、システムをセットアップモードに切り替えます。

1. アプリで **≡** > **[設定]** > **[スピーカーの設定]** の順に選択して、本システムを選択します。
2. **[スピーカーの接続]** を選択します。

セットアップの手順はアプリに表示されます。

プリセットのカスタマイズ

6つのプリセットには、お気に入りの音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ放送局、音楽ライブラリのプレイリスト、アーティスト、アルバム、曲などを自由に登録できます。SoundTouch® appのボタンをタッチするだけで、音楽をいつでも簡単に再生できます。

プリセットを使用する際は、次の点にご注意ください。

- プリセットは、アプリとリモコンのどちらからでも設定できます。
- 音楽ライブラリをプリセットに登録している場合は、音楽ライブラリを保存しているパソコンの電源がオンになっていて、SoundTouch® コンソールと同じネットワークに接続されている必要があります。
- BluetoothのストリーミングやAUX端子に接続したモバイル機器をプリセットに設定することはできません。

プリセットを設定する

1. アプリを使用して音楽をストリーミング再生します。
2. 音楽を再生しているときに、アプリのプリセットボタンを長押しします。

プリセットを再生する

プリセットを設定したら、アプリのプリセットボタンを押して再生できます。

リモコンを使用してプリセットを設定する

1. リモコンの  ボタンを押して、SoundTouchソースに切り替えます。
 2. 数字キーパッドの1～6キーを長押しすると、新しいプリセットが割り当てられます。
- 新しいプリセットが割り当てられると、ピープ音が聞こえます。

リモコンを使用してプリセットを再生する

1. アプリを使用して、お気に入りのインターネットラジオ局をプリセットに登録します。
2. リモコンの **SoundTouch®** ボタン  を押して、SoundTouchソースに切り替えます。
3. 数字キーパッドの1～6キーを押して、プリセットを選択します。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーにより、Bluetooth 対応のスマートフォン、タブレット、パソコン、その他のオーディオ機器の音楽を本製品でワイヤレス再生することができます。モバイル機器の音楽を本製品でワイヤレス再生するには、あらかじめモバイル機器とコンソールを接続する必要があります。

ペアリング方法を選択する

モバイル機器とコンソールをペアリングするには、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用する方法と、Near Field Communication (NFC) 機能を利用する方法があります。

NFC について

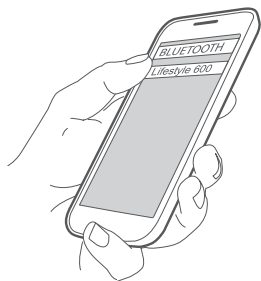
NFC は、対応機器同士をタッチするだけでワイヤレス通信を確立する機能です。お使いの機器が NFC に対応しているかどうかは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

お使いの機器が NFC に対応しているかどうか分からない場合:	「モバイル機器を接続する」の説明に従ってください。
お使いの機器が NFC に対応している場合:	「NFC による機器のペアリング」(24 ページ)の説明に従ってください。

注: お使いのモバイル機器が NFC による Bluetooth ペアリングに対応している場合は、どちらの方法でもペアリングできます。

モバイル機器を接続する

1. リモコンの **SOURCE** ボタンを押して、リモコンのディスプレイから **Bluetooth** を選択します。
2. 画面の手順に従って、コンソールをペアリングモードに切り替えます。
3. SoundTouch® app のデバイストレイから本システムを選択します。
4. **Bluetooth** を選択します。
5. **[接続]** を選択します。
6. モバイル機器のデバイスリストから Lifestyle® システムを選択します。

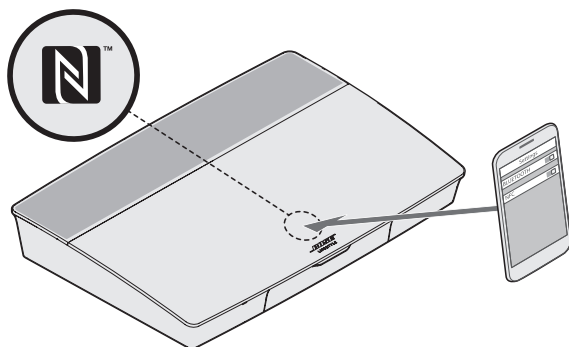


ヒント: アプリでシステムに付けた名前を探してください。システムに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。

接続すると、デバイスリストに本システムが「接続済み」と表示されます。

NFCによる機器のペアリング

1. システムの電源をオンにします。モバイル機器のロックを解除して、*Bluetooth* 機能と *NFC* 機能をオンにします。この機能の詳細については、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。
2. モバイル機器の *NFC* タッチポイントを *Lifestyle*® コンソールの天面にある *Bose*® ロゴの上の部分に当てます。
モバイル機器によっては、ペアリングの同意を求める音声やメッセージが出る場合もあります。



接続したモバイル機器をリモコンで操作する

ペアリングしたモバイル機器はリモコンで操作することができます。SOURCE メニューから *Bluetooth* を選択します。機器の接続方法については、23 ページをご覧ください。

リモコンを使用して、システムのような *Bluetooth* 機能を操作できます。

- モバイル機器をペアリングして接続します。
- アーティスト情報を表示できます。
- 音楽の再生操作を行えます(再生、一時停止、停止、次のトラックへのスキップなど)。
- ペアリングリストを消去できます。

モバイル機器のBluetooth機能を使用して接続する

1. モバイル機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。
ヒント: 通常、*Bluetooth* メニューは設定メニューにあります。
2. モバイル機器のデバイスリストから本システムを選択します。

リモコンを使用して接続する

モバイル機器の音楽をコンソールでストリーミング再生できます。

1. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。
2. リモコンで、**SOURCE** メニューからBluetoothを選択します。
コンソールは、最後にストリーミング再生していたモバイル機器に接続します。
3. モバイル機器で音楽を再生します。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器のBluetooth機能をオフにします。

別のモバイル機器をペアリングする

別の機器をペアリングするには、**SETUP** ボタンを押して[Bluetooth設定]を選択します(15ページを参照)。

機器を再接続する

- コンソールの電源を入れると、最後に接続していたモバイル機器に再接続します。
注: モバイル機器が通信範囲内にあり、電源がオンになっている必要があります。
- モバイル機器がNFCに対応している場合は、機器のNFCタッチポイントをコンソールの天面にあるBose®ロゴの上の部分に当てます。

システムのBluetoothペアリングリストを消去する

アプリで **三** > [設定] > [スピーカーの設定] > **スピーカーを選択** > [Bluetooth®] > [Bluetooth®ペアリングリストの消去] > [消去]の順に選択します。

ペアリングリストが消去されます。

コンソールでシステムのペアリングリストを消去することもできます。

1. **SETUP** ボタンを押します。
2. [Bluetooth設定]を選択します。
3. [Bluetoothペアリングリストの消去]を選択します。

Wi-Fi機能を無効にする

1. コンソールの **SOURCE** ボタンを10秒間長押しします。
2. **SOURCE** ボタンを放します。

Wi-Fi機能を再度有効にする

システムの電源をオンにすると、Wi-Fi機能が自動的に有効になります。

システムソフトウェアを更新する

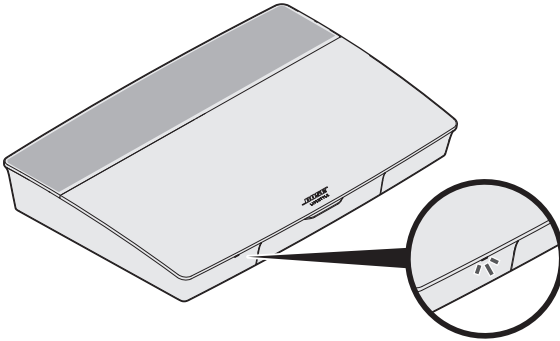
ホームネットワークに接続されている場合、システムは電源をオンにするたびにソフトウェアの更新を確認します。更新が利用できる場合は、ダウンロードが自動的に開始されます。

更新データが完全にダウンロードされると、コンソールの電源をオフにするときに、更新の準備ができましたというメッセージが画面に表示されます。更新がインストールされると、システムは自動的にシャットダウンします。

ステータスインジケータについて

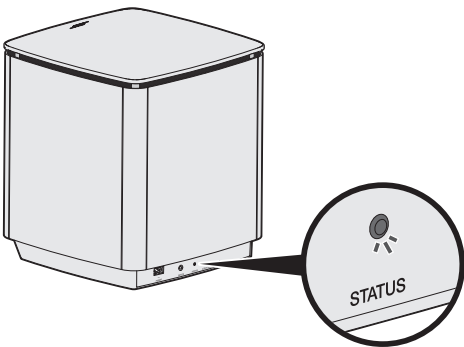
コンソールの前面にあるLEDインジケータには、システムの状態が表示されます。システムの状態に応じて、LEDの点灯状態が変わります。

コンソールのLEDインジケータ



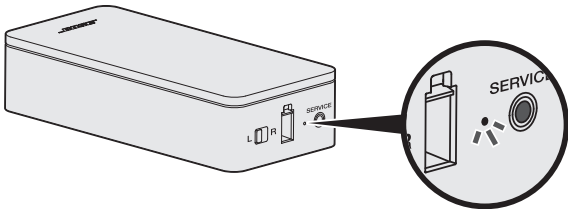
インジケータの表示	システムの状態
消灯	システムがオフです
白の点滅	システムをオンにしています
白の点灯	システムを使用できます
オレンジの点滅	システムソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
オレンジの点灯	ネットワークに接続していません
赤の点灯	ファームウェアエラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

Acoustimass® ベースモジュールのLED インジケーター



インジケーターの表示	システムの状態
白の点灯	コンソールに接続されています
オレンジの点灯 (暗い)	省電力モード
白の点滅	コンソールへの接続が解除されています
赤の点滅	ファームウェアエラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

ワイヤレスレシーバーのLED インジケーター



インジケーターの表示	システムの状態
オレンジの点滅	ペアリングができません
白の点灯	コンソールに接続されています
オレンジの点灯 (暗い)	コンソールへの接続が解除されています
白の点滅	システムソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
赤の点滅	ファームウェアエラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

お手入れについて



システムの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。

- システムの外装は付属のクリーニングクロスや柔らかい布でから拭きしてください。
- システムの近くでスプレー等を使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

お問い合わせ先

本製品に関するご不明点は以下までお願いいたします。

- 弊社 Web サイト: global.Bose.com/Support/LS600
- Bose カスタマーサービス: (電話: 0570-080-021、平日 9:30 ~ 17:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

保証

製品保証の詳細は弊社 Web サイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社 Web サイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

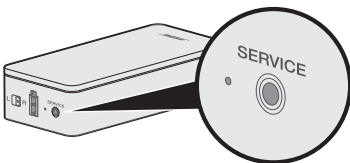
仕様

米国/カナダ/その他の国々:

- コンソール: 10VDC 3.3A、44VDC 1.25A
- ワイヤレスレシーバー: 100 ~ 240V 50/60 Hz、30W
- Acoustimass® ベースモジュール: 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、180W

SERVICE 端子

SERVICE 端子はサービス専用です。この端子にケーブルを接続しないでください。



トラブルシューティング

ホームエンターテインメントシステムに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- すべてのシステムコンポーネントが電源に接続されていることを確認します。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- システムのステータスインジケータの状態を確認します (27 ページを参照)。
- システムを干渉源になるような電気製品 (無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど) から離します。
- 正しく動作するように、システムが無線ルーターやモバイル機器の推奨通信範囲内にあることを確認します。

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Bose カスタマーサービスまでお問い合わせください。

トラブルシューティング

次の表には、一般的な問題の症状と、考えられる対処方法が記載されています。

症状	対処方法
リモコンを初めて使用したとき、システムが応答しない	• コンソールの前面にある電源ボタン  を押して、手動で電源を入れます。 • リモコンのいずれかのボタンを押します。コンソールのステータスインジケータを確認します。リモコンのボタンを押すたびにインジケータが点滅します。 • リモコンに電池が正しく入っていることを確認して、必要に応じて新しい電池に交換してください (42 ページを参照)。 • コンソールの電源コードを抜き、30 秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
初期設定で接続した機器をリモコンで操作できない	IR エミッターを接続します (33 ページを参照)。
テレビから音が聞こえる	テレビの設定メニューから、テレビの内蔵スピーカーをオフにします。
最適なインターフェイスで映像機器を接続したい	コンソールの SETUP ボタンを押して、その機器の設定オプションを選択します。画面に表示される手順に従い、映像機器の接続を変更してください。
システムが反応しない	• SOURCE メニューから接続機器を選択します。 • コンソールの電源コードを抜き、30 秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
HDMI (ARC) 機能に関する問題	システムの HDMI™ ケーブルがテレビの ARC または Audio Return Channel と表示されている端子に接続されていることを確認します。 テレビに HDMI ARC 端子がない場合は、リモコンの SETUP ボタンを押して、UNIFY® メニューから [テレビ音声の詳細設定] を選択します (15 ページを参照)。

症状	対処方法
CEC機能に関する問題	コンソールがテレビのHDMI ARC端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューでConsumer Electronics Control (CEC)機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。 詳しい情報を確認するには、テレビの取扱説明書を参照するか、リモコンの SETUP ボタンを押して、UNIFY®メニューから[CEC設定]を選択します(15ページを参照)。
接続機器の電源がオンにならない	リモコンの SETUP ボタンを押して、UNIFY®メニューから[CEC設定]を選択し、[Alternate On (個別指定)]に設定します(15ページを参照)。
システムから音が出ない	• 音量を上げます。 • リモコンのミュートボタン  を押して、システムが消音状態でないことを確認します。 • 機器を正しく選択していることを確認します。 • 機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。 • HDMI™ケーブルがテレビのARCまたはAudio Return Channelと表示されている端子に接続されていることを確認します。テレビにHDMI ARC端子がない場合は、HDMIケーブルのほかに音声ケーブルを使用します。 • 追加の音声ケーブルを使用する場合は、テレビの音声出力(OutputまたはOUT)端子に接続します。 • コンソールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
ネットワークのセットアップを完了できない	• 正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します(大文字と小文字を区別して入力してください)。 • Ethernetケーブルを使用してネットワークに接続します。 • モデムとルーターを再起動します。
SoundTouch®のセットアップを完了できない	• モバイル機器とシステムを同じWi-Fiネットワークに接続します。 • システムを既にWi-Fiネットワークに追加している場合は、アプリに指示が表示されたら[システムはすでにネットワークに接続されています]を選択します。 • セットアップに使用するモバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。 • インターネット接続を確認します。 • モバイル機器を再起動します。 • モデムとルーターを再起動します。 • アプリをアンインストールして再インストールし、システムを出荷時の設定に戻してから、セットアップをやり直します。
低音が強すぎる/弱すぎる	• システムの低音を調整します(19ページを参照)。 • ADAPTiQ®自動音場補正を実行します(16ページを参照)。 • ベースモジュールを壁や部屋の隅から離します。

トラブルシューティング

症状	対処方法
ワイヤレスレシーバーのステータスLEDがオレンジに暗く点灯している	- 画面のトラブルシューティング指示に従います。 - コンソールまたはリモコンの SETUP ボタンを押して、UNIFY® セットアップをやり直します (16 ページを参照)。 - レシーバーの電源コードを抜き、30 秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。 - リアスピーカーをケーブルで接続します (43 ページを参照)。
音が歪む	- 機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。 - コンソールに接続されている機器の音量を下げてください。 - 接続機器の音声入力ケーブルに傷などがなく、正しく接続されていることを確認します。 - ADAPTiQ® 自動音場補正をまだ実行していない場合は、UNIFY® メニューから ADAPTiQ® を選択します (15 ページを参照)。 - コンソールの電源コードを抜き、30 秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
接続機器からの音が出ない	- 接続機器の電源をオンにします。 - 機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。 - 接続機器の取扱説明書をご覧ください。
音声は聞こえるが、テレビ画面に映像が出ない	テレビの映像入力の選択を確認し、正しい映像機器が選択されていることを確認します。
接続機器をリモコンで正しく操作できない	- 機器を再セットアップしてください。コンソールの SETUP ボタンを押し、接続した機器の設定 (リモコンの設定) を選択して、画面に表示される手順に従って機器を再セットアップします。 - リモコンの電池を交換します (42 ページを参照)。 - IR エミッターをセットアップします (33 ページを参照)。
同軸デジタル音声接続機器の音声が断続的に途切れる	- コンソールと同軸デジタル音声接続機器に音声ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 - 機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。 - 機器を再セットアップしてください。コンソールの SETUP ボタンを押し、同軸デジタル音声接続機器の設定を選択して、画面に表示される手順に従って機器を再セットアップします。 - コンソールの電源コードを抜き、30 秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
リモコンの一部のボタンでテレビや接続機器の対応する機能を操作できない	リモコンの SETUP ボタンを押して、 [テレビのリモコン設定] > [詳細設定] の順に選択します。
ネットワークの接続情報または機器自体を変更した	SETUP ボタンを押して、[ネットワーク設定] を選択します。 - ネットワーク情報を変更した場合や、システムを別のネットワークに接続する場合は、SoundTouch® app のヘルプを参照してください。 - ワイヤレス接続に問題がある場合は、Ethernet ケーブルを使用してネットワークに接続します。

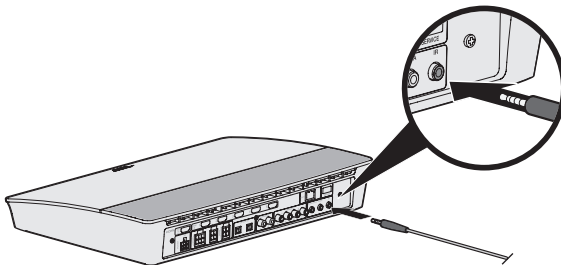
症状	対処方法
Bluetooth機器の音楽を再生できない	システムでの操作: • システムのBluetooth画面からモバイル機器をペアリングします。 • リモコンを使用して、システムのペアリングリストを消去します。 - Bluetoothに切り替えたら、リモコンのMOREボタン  を押します。 - [ペアリングリストの消去]を選択します。 • 別のモバイル機器をペアリングしてみてください。 モバイル機器での操作: • Bluetooth機能を無効にしてから、再度有効にします。 • Bluetoothメニューのペアリングリストから本システムを削除します。ペアリングし直します。 • モバイル機器の取扱説明書をご参照ください。 • 「システムから音が出ない」(31ページ)をご覧ください。

IRエミッターのセットアップ

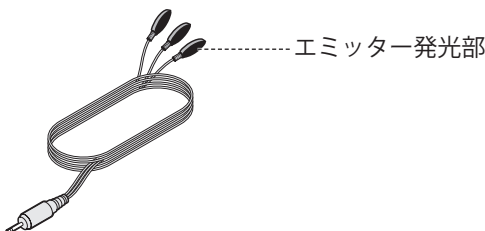
リモコンと接続機器の反応に問題がある場合は、付属のIRエミッターをお使いください。

注: IRエミッターは、他社製機器をリモコンで操作できない場合にのみ使用してください。

1.   の箱からIRエミッターを取り出します。
2. コンソールの背面にある**IR**端子にエミッターを接続します。



3. エミッターに付属のシートから両面粘着テープを剥がし、エミッター発光部の平らな底面に貼り付けます。



トラブルシューティング

4. 両面粘着テープの保護シートを剥がします。
5. 接続機器を収納しているキャビネットの中や機器本体の前にIRエミッターを貼り付けます。
6. リモコンの反応を確認します。問題が解決しない場合は、IRエミッターの位置を変えて再度お試しください。

音が出ることを確認する

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/衛星チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
 - 接続機器の電源をオンにします。
 - 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。
3. コンソールの電源をオンにします。

接続機器の音がベースモジュールから聞こえます。

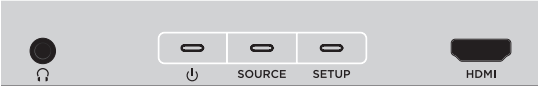
注: ベースモジュールから音が出ない場合は、31ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

コンソールの前面パネル

コンソールの前面には以下の端子があります。

- ヘッドホン
- HDMI™入力

デバイスを接続すると、**SOURCE** メニューに[AUX INおよびHDMI (前面)]と表示されます。これらの入力には、デジタルカメラ、ビデオカメラ、メディアプレーヤー、モバイル機器などを必要に応じて接続できます。



前面のヘッドホン/AUX入力端子

この3.5 mmステレオ音声端子には、ヘッドホンを接続したり、モバイル機器を接続して音楽を再生したりできます。デフォルトではヘッドホン用に設定されています。

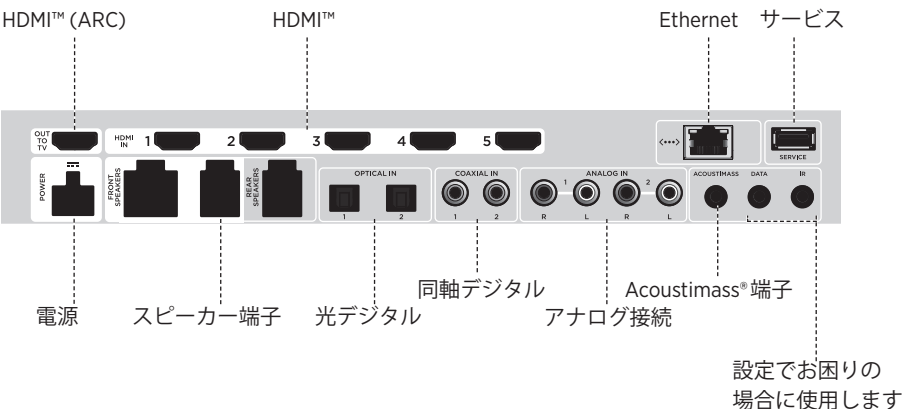
AUX IN端子として使用する場合、リモコンの **SETUP** ボタンを押して、画面のメニューから[ヘッドホン端子]を選択します。デバイスを接続したら、**SOURCE** メニューから[AUX IN]を選択します。

前面HDMI入力

この入力には、HDMI出力を備えた機器を接続できます。

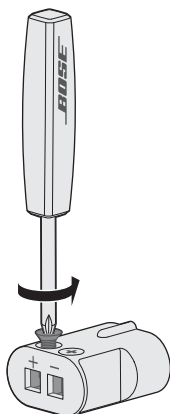
注: Bose リモコンでは、前面のHDMI™入力に接続した機器を操作することはできません。

コンソールの背面パネル



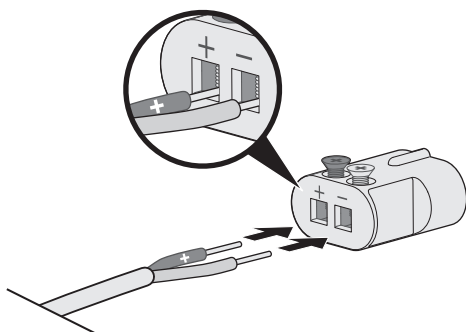
AC-2アダプターの接続

1. ドライバーを使用して、ネジを左(反時計回り)に回して端子を緩めます。



2. **フロントスピーカーの場合:** 6芯ケーブルの先バラ線の赤い方(L+, C+, またはR+ マークのあるもの)をアダプターの赤の+端子に、マークのないものをシルバーの-端子に差し込みます。

リアスピーカーの場合: 2芯ケーブルの先バラ線の赤い方(+マークのあるもの)をアダプターの赤の+端子に、マークのないものをシルバーの-端子に差し込みます。



注: ケーブルの被膜部分を端子で挟まないように、剥き出しになったワイヤー部分のみを端子に差し込んでください。

3. ドライバーを使用して、ネジを右(時計回り)に回してケーブルを端子に固定します。
4. 手順1から4を繰り返して、もう1個のアダプターも取り付けます。

フロントスピーカーを設置する

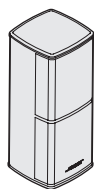
UNIFY® セットアップでは、「ケーブル接続スピーカー」のステップでフロントスピーカーの設置手順をご案内します(16ページを参照)。

セットアップを完了した後でシステムを移動する場合は、以下の手順に従って、ホームエンターテインメントシステムのフロントスピーカーを再設定してください。

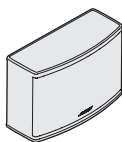
注意: コンソールが電源に接続されている場合は、スピーカーの接続作業を行わないでください。

必要となるもの:

箱    から取り出すもの:



Jewel Cube®
スピーカー (2)



Jewel Cube® センター
スピーカー (1)

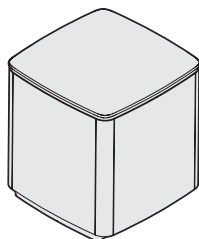


AC-2 アダプター
(3)



フロントスピーカー用
ケーブル(1)

箱  から取り出すもの:



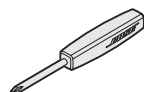
Acoustimass® ベースモジュール(1)

箱   から取り出すもの:



3.5 mm ステレオ音声ケーブル(1)

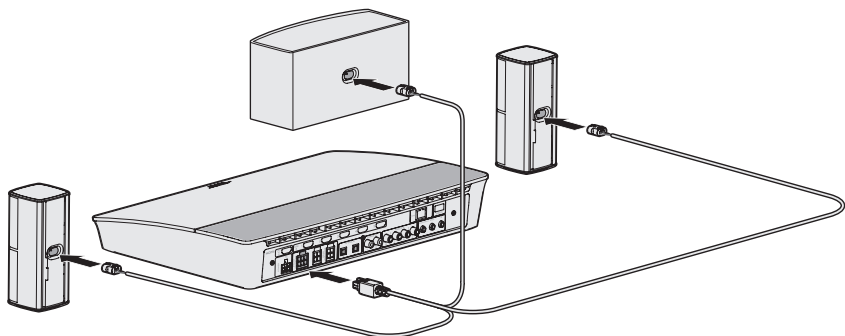
箱   から取り出すもの:



ドライバー (1)

フロントスピーカーをコンソールに接続する

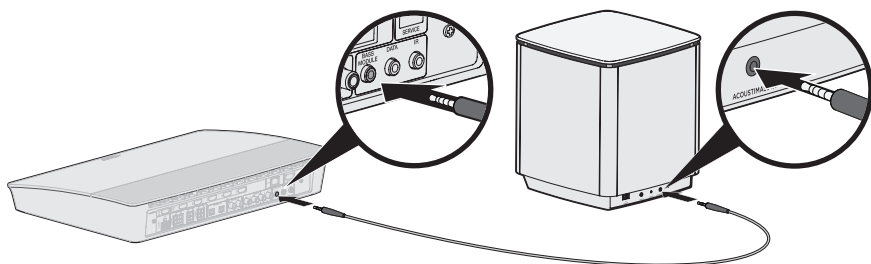
1. スピーカーケーブルの剥き出しになったワイヤー部分にAC-2アダプターを接続します。「AC-2アダプターの接続」(36ページ)をご覧ください。
2. **L+**マークのあるケーブルに接続したアダプターをテレビに向かって左側のスピーカーに差し込みます。
3. **R+**マークのあるケーブルに接続したアダプターをテレビに向かって右側のスピーカーに差し込みます。
4. **C+**マークのあるケーブルに接続したアダプターをセンタースピーカーに差し込みます。
5. 6芯ケーブルの反対側をコンソール背面の6ピン**FRONT SPEAKERS**端子に接続します。



注: コンソール背面の4ピンFRONT SPEAKERS端子は使用しません。

Acoustimass® ベースモジュールをコンソールに接続する

1. 3.5 mmステレオ音声ケーブルの一方を、ベースモジュールの背面にある**ACOUSTIMASS IN**端子に接続します。
2. ケーブルのもう一方を、コンソールの背面にある**ACOUSTIMASS**端子に接続します。



リアスピーカーを設置する

UNIFY®セットアップでは、「ワイヤレススピーカー」のステップでリアスピーカーの設置手順をご案内します(16ページを参照)。

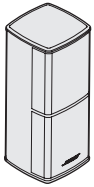
セットアップを完了した後でシステムを移動する場合は、以下の手順に従って、ホームエンターテインメントシステムのリアスピーカーを再設定してください。

注: リアスピーカーとコンソールをペアリングできない場合は、カスタムスピーカーケーブル(別売)を使用して直接システムに接続することもできます。

詳しい手順については、43ページをご覧ください。

必要となるもの:

箱   から取り出すもの:



Jewel Cube®スピーカー (2)



リアスピーカー用ケーブル(2)



AC-2アダプター (2)



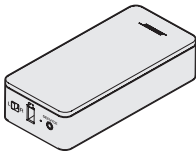
箱  から取り出すもの:



箱  から取り出すもの:



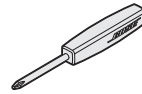
箱  から取り出すもの:



ワイヤレスレシーバー (2)



電源コード(2)

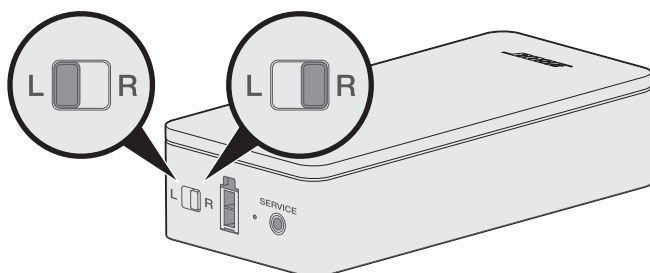


ドライバー (1)

ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える

リアスピーカーは、接続されたワイヤレスレシーバーを介してコンソールと通信します。レシーバーは工場出荷時にあらかじめL(左)側とR(右)側のチャンネルに設定されています。チャンネルの設定は、レシーバーの前面にあるスイッチを切り替えることによって変更できます。

1. 一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**L**(左)になっていることを確認します。
2. もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**R**(右)になっていることを確認します。

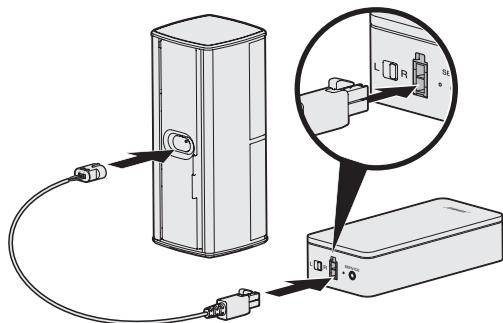


注: 必ず、1台のワイヤレスレシーバーを**L**(左)チャンネルに、もう1台を**R**(右)チャンネルに設定してください。

リアスピーカーを接続する

1. スピーカーケーブルの剥き出しになったワイヤー部分にAC-2アダプターを接続します。「AC-2アダプターの接続」(36ページ)をご覧ください。
2. スピーカー背面の端子にアダプターを差し込みます。
3. 2芯ケーブルの反対側をワイヤレスレシーバーに差し込みます。

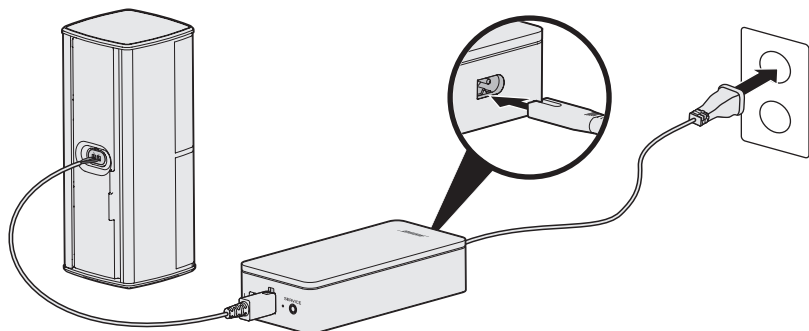
しっかり差し込むと、カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があります。



4. 手順1～3を繰り返して、もう一方のスピーカーも接続します。

リアスピーカーを電源に接続する

1. 電源コードの片側をワイヤレスレシーバーに接続します。
2. 電源コードの反対側を壁のコンセントに差し込みます。



3. 手順1と2を繰り返して、もう一方のスピーカーも接続します。

スピーカーの設置方法

スピーカーは、壁掛けブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリーにつきましては、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めください。

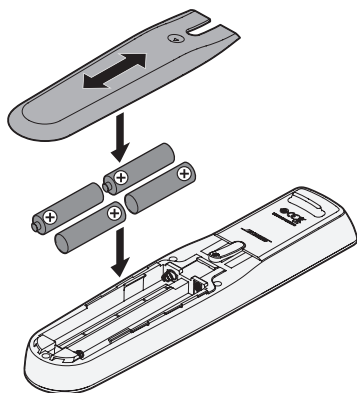
注意:

- スピーカーを設置する際は、ボーズ純正のアクセサリーのみを使用してください。純正以外のアクセサリーを使用すると、システムやコンポーネントを破損する恐れがあります。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。

リモコンの電池を交換する

リモコンの使用範囲が著しく狭くなった場合は、電池を4本とも交換します。

1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。
2. 単三形アルカリ乾電池4本を入れます。電池ケースに表示されている+と-の向きと、乾電池の+と-の向きを正しく合わせてください。



3. 電池カバーをスライドして元に戻します。

Acoustimass® ワイヤレスベースモジュールとコンソールをペアリングできない

ベースモジュールとコンソールのワイヤレス接続に問題がある場合は、3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用して接続することもできます。

注： 3.5 mmステレオ音声ケーブルが必要な場合は、お買い上げになった販売店またはBoseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

3.5 mmステレオ音声ケーブルの接続方法：

1. リモコンの**SETUP**ボタンを押します。
2. **[スピーカー管理]**を選択します。
3. 画面に表示される手順に従い、「次の手順は、ベースモジュールの設定方法を示しています。」というメッセージが表示されるまで操作します。
4.  ボタンを押して、画面の手順に従ってセットアップを完了します。

ワイヤレスレシーバーとコンソールをペアリングできない(リアスピーカー)

リアスピーカーとコンソールをペアリングできない場合は、カスタムスピーカーケーブル(別売)を使用して直接システムに接続することもできます。リアスピーカーとコンソールをワイヤレス接続できない場合にのみ、この方法をご利用ください。

注： カスタムスピーカーケーブルが必要な場合は、お買い上げになった販売店またはBoseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

スピーカーケーブルの接続方法：

1. リモコンの**SETUP**ボタンを押します。
2. **[スピーカー管理]**を選択します。
3. 画面に表示される手順に従い、「次の手順は、リアスピーカーの設定方法を示しています。」というメッセージが表示されるまで操作します。
4.  ボタンを押して、画面の手順に従ってセットアップを完了します。

注意： 純正以外のケーブルを使用してスピーカーをシステムに接続しないでください。純正以外のケーブルを使用すると、システムやコンポーネントを破損する恐れがあります。



799914-0030